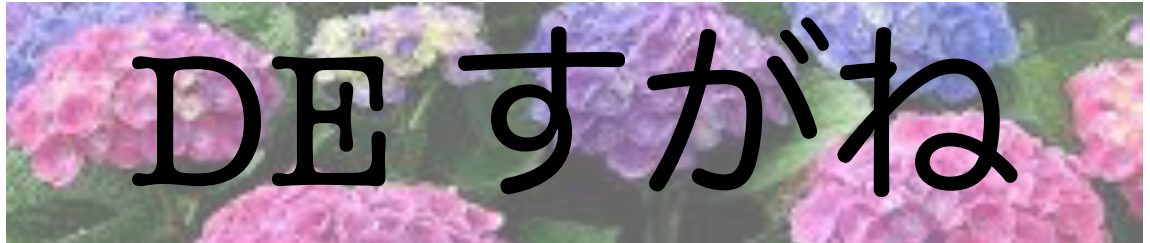


地域情報誌
2017年6月
(No33)



〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

祝!! 竣工 須金防災無線基地局



(写真：当日の式典の様子)

最近各地で大雨などによる自然災害が頻発しています。災害発生時に一番心配なのは電話やインターネットなどの通信インフラがダウンすることです。外からの情報も入らないし、助けを呼ぶこともできません。

そこで、活躍するのが無線です。無線は文字通り電線がなくても遠くの人と話することができます。消防団や自主防災に配備された無線機やアマチュア無線とが連携することで、須金地区内はもちろん、須々万や中須、鹿野ともお互いに連絡を取り合うことができます。

この度、須金支所内に自主防災の簡易無線とアマチュア無線のアンテナや無線機が整備され、災害時の無線基地局として竣工しました。これで須金の防災力が一つ強化できましたが、これらは使いこなしてこそその設備です。今後は機会があるごとに訓練をし、より実効性のある仕組みと使用法を模索していこうと考えています。

ちなみに、こういった設備が出来たのは周南市では須金だけです。もしかしたら山口県でも初めての取り組みかもしれません。

(生きがいのある須金をつくる会 自主防災部 部長 吉安 輝修)

人物紹介

三輪 武文（みわたけふみ）さん

里江子（りえこ）さん



(写真：駐在所前にて)



この4月に新しい駐在所長さんがいらっしゃいました。とても笑顔が素敵で、安心感がありますが、どんな方なのでしょう？所長さんと奥さんにお話を聞いてきました。

Q. 経歴を教えてください。

武文さん（以下、（武））：小郡の出身で大学は広島に出ていましたが、山口県警に就職しました。これまでに、県内各地で勤務してきましたが、駐在所の経験は山口の八坂駐在所からで6年目になりました。

里江子さん（以下、（里））：萩市の出身です。大阪で働いていたこともあります。

Q. 趣味や特技はなんですか？

（武）：趣味は釣りです。だいたいバス釣りですが、妻の実家の萩に行くと海釣りもします。あと囲碁が好きで、NHKのテレビは欠かさず見えています。

（里）：山口にいた時は、絵手紙を描いたりクラフトのカゴを作ったりしていました。落ち着いたら絵手紙で仲間に近況報告をするつもりです。

Q. 歓送迎会ではお酒が好きなように見えたが・・・

（武）：お酒は岩国に勤務している時に、色々と教えて頂き、一時は珍しい焼酎を沢山集めていました。お好きな方には、おススメをご紹介しますので、声をかけてください。

Q. 里江子さんはひまわり会に入られましたね。

（里）：高齢者サロンの「それーねの日」に参加したのと、農ガニックフェスタの前日の仕込みのお手伝いをしました。今度はケーキ作りにも参加してみたいと思います。

（このインタビューの後に、ケーキ作りにも参加されていました。）

Q. 須金の皆さんに一言

（武）：地域のために一生懸命頑張ります。巡回連絡で地域を回っているので、お会いした時はよろしくお願いします。

お二人とも良く笑う方で、楽しいインタビューになりました。駐在さんには農ガニックフェスタの警備をして頂いたり、奥様もひまわり会に参加されたり、早くも地域に入ってしっかりと活躍されています。

(文：三牧 清隆)

『農ganic Fest 2017』が開催されました！



(写真：フードコーナーも大盛況)



(写真：きれいに整地された親水広場)

今年も恒例の農ganic Festaが、ふれあいプラザ周辺で開催されました。今年の目玉は、地域の皆さんの協力で完成したふれあいプラザ下の「親水広場」。広々とした気持ちのいい空間での、ツリークライミングやラフティングボート、各種体験コーナーなどは最高～！お天気もよく早くから行列ができて大盛況でした。

フードコーナーも、早々と完売のお店が出るなどこちらも大賑わい。お天気にも恵まれ、会場はたくさんの人たちの笑顔で溢れていました。回を重ねるごとに、会場や駐車スペースが充実してきた感のあるこちらのイベント。来年もさらに賑やかになること間違いなし！ですね。

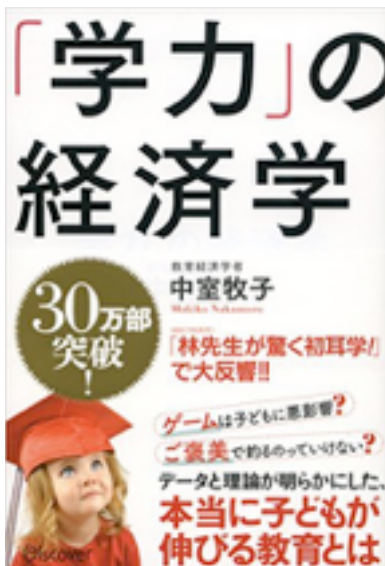
(文 / 須田 浩史)

書評 DE SUGANE



● 『学力の経済学』

(教育経済学者 中室牧子 (著) / ディスカヴァー・トゥエンティワン)



子育て・孫育て世代は必読！「子どもを“ご褒美”で釣ってはいけないのか？」「子どもは褒めて育てるべきなのか？」など、よく議論になる教育問題が科学的根拠に基づいて解説されています。

テレビを見ていると、教育評論家やタレントが様々な教育論を語りますが、天邪鬼な僕は、「この人たちは綺麗事を言うけど、ちゃんと子育てをした事があるのかな？」と思ってしまいます。でもこの本の著者は、「成功例を語る人たちの真似をしても同じように成功する保証はどこにもない。」と説き、統計や実験を元に解説してくれるので、納得できる内容になっています。もちろん様々な意見はあると思うので、ご自身の教育論と比較して読むと面白いと思います。

(文 / 三牧 清隆)

須金地区主な行事予定

(6～7月)

6月

- 6月 4日（日）小学校参観・プール清掃
- 6月 7日（水）～8日（木）
民泊受入：関東学院中学校
- 6月 9日（金）高齢者福祉のつどい
- 6月 10日（土）やまびこ号
- 6月 12日（月）コミュニティ理事会
- 6月 18日（日）北部球技大会
- 6月 21日（水）コミュニティ推進連絡協
議会総会・コミュニティ
三団体交流会
- 6月 23日（金）～24日（土）
ほたるのすがね
- 6月 27日（火）やまびこ号

7月

- 7月 2日（日）錦川流域河川一斉清掃
もみじパーク下草狩り
- 7月 3日（月）地域参観日
- 7月 9日（日）それーねの日
- 7月 10日（月）コミュニティ理事会
- 7月 15日（土）～16日（日）田舎の学校
- 7月 17日（月）亀山八幡宮夏祭
- 7月 20日（木）小学校終業式

DEすがね掲示板

◎ふれあいプラザに公衆電話が設置されたのでお知らせします。災害時にも繋がりやすいため、覚えておきましょう。

◎須金にある教員住宅の解体が行われます。調査や準備などで随時人の出入りがあるのでお知らせいた

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法は desugane@g mail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

須金の生い立ち (6) 鎌倉～室町時代

文 高橋 勝己

1553年（天文22年）～1556年（弘治2年）
にかけ、須万の地は陶により支配されました。このとき陶の菩提寺である龍文寺（曹洞宗）の系列である観音寺が1555年に建立されています。

大内の時代、朴地域は陶晴賢の領地でした。晴賢は、妹婿である有吉隼人にこの地域を管理させていました。隼人は晴賢が大内に謀反をおこすことに反対しましたが、聞き入れてもらえませんでした。須磨の連合軍に付いていた隼人は兄弟で相戦うことになり、天文20年3月21日、ついに自害してしまいます。有吉家の家臣たちはまだ二歳の隼人の子を守り、広瀬にのがれていました。毛利元就が防長二国を征服した後、その家臣らの忠誠をかわれ、有吉一族に再び朴村の領地を領分として復活することが許されました。その子が有吉淡路守です。彼は1563年（永禄6年）、白山穂川神社をこの地に建て、東光寺を奥畑からこの地に移転しました。

他に、鶴岡一族は陶軍と最後まで戦った功績により、旧領地を認められます。中原の鶴岡、奥畑の岡、峰畑の文屋、楽々谷の藤井、朴の有吉の5名が5ヶ村の刀禰職の世襲を確立しました。これを須磨の5名といいます。

(次回につづく)



(写真：東光寺八十八地藏)

編集後記

農ganic Festaフェスタ盛況でしたね。プラザ前の河原に沢山の人が集う様子は、上から見ていても気持ちのいいものでした。竹の伐採作業は大変だったと思いますが、みんなの苦勞が報われましたね。 (三牧)